

7. 教員養成の質の向上に係る取組

別府大学（高等学校教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状・栄養教諭一種免許状）

本学では、『教職履修カルテ』を教職課程の学修支援の中核として位置づけ、その運用を重視している。教職課程履修者は、カルテを自ら作成・管理し、学修の振り返りと課題の把握を行う。

このような各履修者の学修の振り返りや今後の課題は、免許状取得に必要な科目ごとに記される。各内容は、当該科目担当教員により点検されコメントが記される。履修者本人と当該教員の両評価により、学修の振り返りが深まったり、新しい課題が発見されたりする。こうした『教職履修カルテ』の運用により、「学び続ける教師」の輩出に努めている。

教育実習前後の科目では、大学での学びを教育現場での経験と結びつけることを重視した指導を行っている。「実習指導」(3年生科目)では、教育実習の心構えや実習内容の理解、目標設定、日誌の書き方に加え、食育や救命など今日的教育課題に関する講義など、教育実習に必要な知識と技能を総合的に扱っている。特に実際の教育実習に関する理解を深めるため、本授業では「教職実践演習」を履修する4年生とともに教育実習検討会を行っており、4年生の実体験やアドバイスを聞くことで、3年生は教育実習を自らの成長につながる学びの場として捉え、その意義を実感している。

教員として必要な資質・能力の最終的な形成と確認を行う4年生科目「教職実践演習」では、教育実習で作成した指導案の検討や模擬授業の実施による教科指導力の向上に加え、学校現場の諸課題を扱うケーススタディや、教育実習の経験を再構築するための講話(別府市教育委員会の指導主事や現職教員等を講師として招へい)を実施している。

このほか、本学教職課程では、教員として活躍する卒業生を招いた交流会や勉強会を実施している。交流会では、教員の仕事の理解や学校現場で求められる力量の把握、教職への意欲の涵養を目的に、卒業生が児童生徒の実態、教育環境、保護者対応、授業の在り方、さらには大学時代の過ごし方などについて語り、在学生の質問にも応じている。学年別・教科別に実施することで、学生の関心に応じた交流が可能となっている。

また「授業力アップ講座」と題した勉強会では、3年生が行う模擬授業に対して卒業生が講評や助言を行い、その他の学生も見学や検討会・意見交換会に参加できる。現場で日々教育実践を行う卒業生からの具体的な助言は、実践的な授業づくりの参考となり、学生の意欲向上にもつながっている。

さらに、本学では教員採用試験に向けた支援も充実させている。一次試験対策としては、学生主体で行われる勉強会の運営を支援し、リーダーに対して教員が指導や助言を行っている。二次試験対策では、各学科の教科教育担当教員や学校現場の経験者を中心に、模擬授業や面談練習の機会を提供している。こうした取り組みにより、学生が自信をもって教員採用試験に臨めるよう、実践的かつ継続的な支援体制を整えている。

本学教職課程では、これらの取組等を通して、確かな専門性と豊かな人間性を備え、教育現場で主体的に学び続けることのできる教員の育成を今後も着実に進めていく。